

令和6（2024）年度

女性教育指導者研修⑦ 実施報告

実施日：令和6（2024）年 11月 27日（水）

女性教育指導者研修の最終回である第7回の研修は、午前はグループ研究発表を行い、午後は講話「女性教育推進連絡協議会について～女性団体活動の実際～」、事例発表・座談会「実践事例から学ぶ地域での学びの実際」、グループ協議「グループ研究のふりかえり」、閉講式を行いました。

グループ研究発表「女性目線で考える防災～私たちの考える防災～」

今回のグループ研究は、「いつどこで発生するのか分からない災害に備えて、定期的に防災について学び、女性に特化した問題や課題を知ることにより、万が一の有事の際に役立てる」ことを目的にグループ研究を進めてきました。

県内で防災に力を入れている地域を自分たちで調べ、防災に関する取組について調査することに加え、防災士を招いて講話を聞くことにより、災害時にトイレが使えないことは、心身にも精神的にも重大な影響を及ぼすので、トイレに目を向けることも大切であることなど、学んだことを発表しました。そして、研究したことに基づいて考えた講座「女性目線で考える防災教室」の説明をしました。講座の学習目的を「地域住民の誰もが防災の意識を高め、知識を身に付けて、災害に備えられるようにする」と設定し、県内の各地域の防災に関する事例から、各地域の現状や避難所の課題について学んだり、実際に使用するトイレの組み立てや、女性の視点を入れた避難所のブースをグループごとに考えて実際に作るといった体験活動を行ったりする全3回のプログラム内容を考えました。

グループ研究や研修を通して、日頃の地域活動に積極的に参加し、住民同士の連携を強化しつつ、災害時は、住民一人ひとりが役割と責任をもって避難所を運営することが、「理想の避難所」につながることで、女性の視点から多くの気づきを得ることで、男女共同参画社会の一步を踏み出せること、今後、より多くの女性が自治体活動に参加し、行動することが重要であることに気付くことができました。



講話「女性教育推進連絡協議会について ～女性団体活動の実際～」

栃木県女性教育推進連絡協議会 会長 七海 朱美 氏

七海氏からは、栃木県女性教育推進連絡協議会の組織や目的について、説明がありました。

栃木県女性教育推進協議会は、情報交換や学び合いを通じた資質向上、男女共同参画の実現に向けた取組、ボランティア活動等を推進しているとのことでした。

また、地域活動をする上で常に楽しさを忘れないことを心がけていると話され、受講者はとても勇気づけられたと思います。



事例発表・座談会「実践事例から学ぶ地域での学びの実際」

栃木県女性教育推進連絡協議会 副会長 板橋 千代子 氏

板橋氏からは、御自身が地元で活動してきた事例について、映像を交えながら発表がありました。栃木市立美術館と連携した行事について、その経過を企画・準備・開催後の反省という段階に沿って、当日の様子の写真とともに丁寧に説明されました。

その後、七海氏、板橋氏を始め、栃木県女性教育推進連絡協議会の各支部の方々、各教育事務所職員、県生涯学習課職員と情報交換を行いました。全体での自己紹介の後、各支部での活動や地域活動の実践に向けてのアドバイスがありました。地域で活動する方や行政職員とのつながりづくりもできたことで、受講者にとって充実した時間となりました。



閉講式

修了証授与では、所長から修了者一人一人に修了証が授与されました。所長挨拶では、今回の研修で得られた学びや経験、そして共に学んだ仲間とのつながりを生かしながら地域づくりを進め、地域活動のリーダーとして活躍してほしいという修了者への期待が伝えられました。



<受講者の感想から>

- 今まで防災について、必要なのにわからないでいましたが、今回いろいろと学べてとても役に立ちました。
- 研究発表がいろいろな方に伝わった気がして、よかったと思いました。すごく良い研修でした。
- 発表後の感想の中で、皆さまから「防災はタイムリーで大切」との言葉をいただき、この研究テーマにしてよかったです。自分の地域でも1月に防災についての研修を行う予定なので、今回のことを参考にしていきたいと思います。
- 「仲間とともに社会貢献を」良い言葉だと思います。一人では手が届かないことでも複数でなら手が届くということに気付きました。
- せっかくの研修の場なので、一人でも多くの県民が参加してほしいです。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp